



学校だより

登校わくわく 学校いきいき 下校にここ

千葉市立千草台東小学校

No.2 (5月号)

令和8年5月15日



【昇降口前の池の睡蓮】

挨拶と笑顔がすてきな「東の子」

校長 山本 貴洋

太陽の光を浴びた新緑がきらきらと輝き、美しい季節になりました。爽やかな薫風が吹く中、子どもたちの元気で明るい挨拶を交わし、毎日生き生きとした笑顔を見せてくれます。4月21日(火)の学校説明会、学級懇談会へのご参加ありがとうございました。ご多用の中、多くの保護者の皆様のご出席をいただき、貴重な共通理解の場をもてたことに、感謝申し上げます。

常に子どもを真ん中にした対話ができるようにしていきたいと思います。ご心配事やご不明な点があれば、学校にご連絡をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度がスタートして1か月余りが過ぎました。この1か月を振り返ると、「挨拶」「優しい心」の言葉が第一に頭に浮かびます。私が東小に着任したとき、児童代表のお迎えの言葉に「東小の自慢の一つに挨拶と笑顔があります…」と話をしてくれました。そして、着任して間もない頃、東小の子どもに「今度の校長先生は、朝、門の近くに立ってくれるの？」と話しかけられたことがあります。挨拶をととても大切にしている学校だと思いました。実際に、東小の子どもが多く通る門の近くに、毎朝立ってみると、「おはようございます」と声をかけると、小学生に限らず中学生も返してくれます。子どもの中には、遠くから私の姿を見かけると「校長先生、おはようございます！」と大きな声で挨拶をしてくれたり、近くに来るとハイタッチをしてくれたりする子どももいます。朝の挨拶だけではなく、下校の際には、校長室の前を通るときに「さようなら！」と声をかけてくれます。転んでしまい、涙を流している下級生に、優しく「大丈夫？」と声をかける上級生も見かけました。また一方では、声をかけた子どもたちの表情や声の様子や反応から、その日の体調や元気の度合いもうかがうことができます。このようなことから、挨拶やちょっとしたコミュニケーションは、大事なだと思います。安全で安心して笑顔の多い生活をしていくための手段の一つだと考えるからです。これも、日頃のご家庭や地域の皆様の子供たちへの声かけがあつてのことだと思います。これからも大切にしていきたい東小の「よさ」だと考えたこの1か月でした。

さて、昇降口前の池には、睡蓮の花がきれいに咲いています。睡蓮に似たものが蓮(はす)です。このことについては別の機会に触れたいと思いますが、睡蓮の花言葉は、花の色によって異なるそうです。白は「純白・純粋」、ピンクは「信頼」、青や紫も「信頼」、黄は「優しさ・甘美」とのこと。個体としても美しいのですが、いろいろな色が織り交ざり、集合体としても美しいものです。子どもたちもこの睡蓮の花のように、それぞれのよさや個性をもち、お互いに認め合い、理解し合いながら、頼もしく、汚れたことに染まらず純粋に、優しい心をもった子供たちに育ててほしいと願います。個人としても集団としても輝いてほしいと願います。

5月に入り、新たな環境や新たな活動(学習)に対して意欲的に頑張ったり、自分の思っていた感じとは違ったりして、疲れを溜めている子どもがいるかもしれません。栄養と休養をしっかりととりながら、過ごしていきたいところです。

5月は学校の大イベントである「笑顔と緑の大運動会」を控えております。5・6年の実行委員を中心に、若葉の緑が映えるさわやかなこの季節に、子どもたちのたくさんの笑顔があふれる



運動会になるよう準備を進めています。準備や当日のお弁当など、保護者や地域の皆様にご協力いただくことも多いと思いますが、ご理解とご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



この池と子どもたちは、密接にかかわっています。絵をかくときのモデルになったり、生き物観察池になったり、東小のシンボルの一つかもしれませんね。